様式３(2015.06改)

作成日　平成30年2月28日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392500266
事業所名	グループホーム　こころ春日井

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	地域の中学生8名が福祉体験学習に来たり、地元の高校生のボランティアグループ(インターアクトクラブ)が頻繁にホームを訪れている。 その他にもボランテイアの来訪が多く、ハーモニカ、草むしり、ハンドベル、歌謡ショー、合唱、フラダンス、マジックショー等々が、利用者に楽しみと潤いを与えている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	運営推進会議が年6回開催されているが、開催日が土曜日に設定されていることもあり、毎回10名前後の家族が参加し、行政(地域包括支援センター職員)や地域の方(市会議員、町内会長、民生委員等)と活発な意見交換をしている。 会議では運営に関わる報告、事例報告・対策(事故、ヒヤリハット等)、制度改正の情報提供を行っている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	運営推進会議には地域包括支援センターの職員が出席し、毎月介護相談員の訪問もあることから、ホームの現況は行政に伝わっている。 管理者は必要な報告、手続き等に市役所(介護・高齢福祉課)を訪問し、連携する関係を築いている。生活保護受給者が3名入居しており、介護・高齢福祉課の他に生活支援課とも連携している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	2ヶ月に1度のホーム便りの発行があり、電話でも利用者の様子を家族の方に伝え、意見を聞くよう努めている。 運営推進会議への家族参加も多く、報告や連絡を密にし、家族の方との連携を深めている。 利用者の思いや意向が、介護相談員を通して伝わってくることもある。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	×	○	○	○	○	○	○	◎		